



KOBE SHOIN WOMEN'S UNIVERSITY
**STUDY
ABROAD
GUIDE BOOK 2020-2021**

Explore the World, Discover Yourself

神戸松蔭女子学院大学留学ガイドブック



ー異文化を体験すべき3つの理由！ー

Open Yourself, Open Your Future

国際交流センター長
池谷 知子 教授

大学時代に留学をしてみたい、異文化を体験してみたいと考えている人も多いと思います。一方で、海外旅行に気軽に旅行するようになった今、わざわざ留学しなくても異文化に触れる能够性はあります。それでは、どうして、学生時代に留学や異文化を体験すべきなのでしょうか？3つの意義をお話したいと思います。

【1つ目 コンテキストを学べる】

留学や語学研修に行く一番大きな意義は、普段勉強している語学力を実践で活かせることです。単語や文法を勉強するだけなら日本でも勉強することは可能ですが、どういう時にそれを使うかというコンテキスト（文脈）を学ぶためには、そのシチュエーションに身を置く必要があります。例えば、ホストファミリーにプレゼントを渡す時、何と言ったらよいのかということを実際に経験することができるが留学のメリットです。

【2つ目 失敗することを恐れなくなる】

日本にいると簡単にできてしまうことが、海外では案外難しかったりします。日本で美容院に行った後、ちょっとでも自分のイメージと違うとがっかりしませんか？海外で美容院に行くのは大冒険です。ちょっと髪を切るだけでも、自分の思っていたできあがりとはまったく違うという状況に陥ったりします。ちょっとびっくりショックな一方で、それでも、髪を切ることができたことが誇らしかったりします。海外インターンシップに行って、たくさんの小さい失敗と成功を繰り返すことで、失敗することを恐れないしなやかなマインドが育ちます。

【3つ目 心の壁を乗り越えられる】

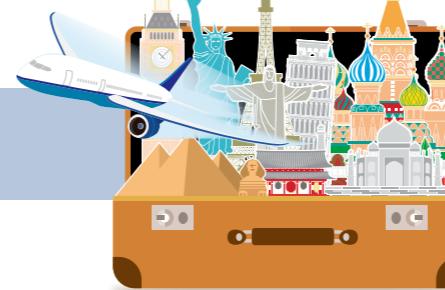
人がわかりあえる条件って何でしょうか。それは「言葉」ではなく、「心」です。言葉が違っていても、心が通じ合える友達を作ることができます。人間は無意識のうちに心の壁を作りがちですが、自分のことをわかってもらうためには、相手に「心」を開かなければなりません。違う国の文化や考え方触れ、自分自身の考え方を持つことで、心の壁を乗り越えて友達となる経験は、長い人生で大切な宝物となります。

神戸松蔭には留学をはじめとして、長期や短期の語学研修、海外教育実習、海外インターンシップなど、様々な異文化を経験するチャンスが用意されています。また、海外に行くだけではなく、大学にいながら、留学生と交流して、異文化を知る機会もたくさんあります。

国際交流センターはみなさんに合った様々なプログラムをサポートしていく場所です。何か聞きたい事があったら、気軽に訪れてください。

KOBE SHOIN WOMEN'S UNIVERSITY
Study Abroad Programs 2020

Study Abroad Programs



世界に広がる可能性

協定校所在地 MAP





ヨーク・セント・ジョン大学
York St John University

England

キャンパスはヨーク市街地中心部に位置し、シティーウォールに隣接、世界的に有名なヨーク大聖堂にも大変近い場所にあります。キャンパス内には19世紀の建物も数多くあるのに加えて、2000年から新たに図書館、コンピューターセンター、学生サービス棟、学生寮も建設されました。



ヨーク大学
York University

Canada

1959年に創立され、6千人の留学生を含む5万2千人の学生が学ぶ、カナダで3番目に大きな規模を誇るトロント北西の大学です。Keele Campusは、地下鉄ヨーク大学駅近くに位置し、ダウンタウンから約30分の距離にあります。キャンパスには10学部、5つの図書館の他、レストラン、スポーツジム等もあります。



アデレード大学
The University of Adelaide

Australia

南オーストラリアでは最も古く、また国内では3番目に古い大学です。North Terraceにあるキャンパスは優秀校としての長い伝統を保ち、オーストラリアで最高の研究教育機関の一つとして定評があります。同大学はThe Times Higher Education Supplementにより世界のトップ1%の大学と評価されています。



北京外国语大学
Beijing Foreign Studies University

China



中国の外国語教育では最も古い歴史を持つ名門大学であり、現在でも歴史と実績共に権威を誇る、国内最高峰の外国语大学です。国内で最も多くの言語を教育し、外交官や国際公務員など、対外関係業務に従事する語学人材と、高い素養を持つ国際的人材を養成する大学で、これまで幾多の人材を輩出させています。



オークランド大学
The University of Auckland

New Zealand

1883年に創立されたニュージーランドで最大の大学で、北島の北部に7つのキャンパスがあります。現在、39,000人以上の学生が学んでいます。オークランド市中心部にあるThe City Campusは16ヘクタールの広さがあり、7つのキャンパスの中で最大の学生数を誇ります。



閩江学院
Minjiang University

China



中国南東部福建省の省都である人口700万人の福州市にある総合大学です。大学城、工業路、洪塘、首山にそれぞれ4つの広大なキャンパスを有し、文理にわたる15学部に2万人以上の学生が在籍しています。それぞれのキャンパスには図書館、食堂、スーパーマーケット、スポーツジム、美容院等があり、大学寮(男女別)も完備されています。



デラウェア大学
University of Delaware

America

デラウェア大学はアメリカ東海岸のデラウェア州の人口30,000人の小さな町であるニューアークにあります。6つのキャンパスは、18世紀と19世紀に建てられた伝統的なジョージア王朝様式の建物が特徴です。世界各地からの留学生が学んでおり、国際的な雰囲気を持っています。



育達科技大学
Yu Da University of Science and Technology

Taiwan

台湾苗栗県に位置する私立大学です。中国の教育家である王廣亞氏が台湾で初めて創設した科技大学で、国内外の産業界との連携を積極的に行い、学生に実習の機会を設けています。経営管理学院、財政学院、人文社会学院、休閒創意学院の4学院(学部)があります。



ビクトリア大学
University of Victoria

Canada

UVicと称されることが多い同大学は、カナダ西部ブリティッシュコロンビア州ビクトリア市の繁華街の北東5kmにあり、その独創的な建築、美しい庭園、温暖な気候でよく知られています。同大学のプログラムは、世界中から高い評判を得ており、フレンドリーで快適なこの地は、学ぶのにはぴったりの環境です。



ダルマプルサダ大学
Universitas Darma Persada

Indonesia

ダルマプルサダ大学は、1986年にインドネシア元日本留学生協会(PERSADA)が、日本での留学経験を母国の発展に活かすため、またインドネシア、日本両国への感謝の証として設立した私立大学です。現在、日本のものづくり精神にならい、インドネシアで唯一の産業人材を育成する「ものづくり大学」を目指し、教育プログラムの構築に取り組んでいます。

目的にあつた プログラムを 選ぼう

神戸松蔭では留学目的、計画に応じて、多彩な留学・研修プログラムを実施しています。行先や外国協定大学なども増え、新たな可能性が広がっています。

経験者の皆さんに聞いてみました!

①留学・研修先 ②留学・研修期間



なぜこのプログラムに参加しようと思ったか。



プログラムに参加して学んだこと、得たこと。



後輩へのメッセージ



日本語教育

03



文学部・日本語日本文化学科3年(渡航時)

塩崎 真鈴

①中国・閩江学院

②10日間

海外で日本語を教えてみたいと考えている、日本語教育養成課程の履修者を対象としたプログラムです。2週間～1ヵ月間、実際に海外で教壇に立って、具体的かつ実践的な教授技術を習得することができます。また、卒業後は提携する海外の大学で6ヵ月～1年間、日本語教師として活躍できる制度もあります。

日本語教師という職業に興味がありました。海外日本語教育実習では、実際の日本語教育の現場を見学でき、また、現地の日本語学習者達に実習を行えるという点から、日本語教育についての知識を深められると想い、参加しました。

当然ですが生徒全員が外国人で、普段の授業とは違う厳しさや難しさを体感できました。また、現地の学生と文化交流を行い、日本の文化を伝えること、現地の学生達の文化を学ぶことの楽しさを知りました。

日本語教育に興味のある方は、日本語教師という職業をさらに身近に感じることができます。現地の学生と交友関係を広げることもでき、今でも連絡を取っていますが、学生たちとの交流は、日本語教師を目指すモチベーションとなります。

語学研修

01



夏期または春期の休暇期間を利用し、海外協定校において約4週間、語学力の向上と国際交流を目的とした研修を行う制度です。

基本的に午前中に語学の授業を履修し、午後は文化体験、近隣観光等に参加します。又、研修修了後は本学の卒業単位として認められます。

英語を学んで終わりというのではなく、今まで学んできた英語だけで、どれだけ世界で通用するのか知りたいと思ったので参加しました。

難しい英語や文法を使わなくても自分の伝えたいことが伝わるとわかりました。話している最中にわからない単語があったときも、ホストファミリーや先生方が調べなさいと言ってくださったので、知らなかった単語を覚えることができました。

海外に行ったことがない人でも、ホストファミリーや先生方が優しく自分に合わせた英語のレベルで話しかけてくれるので、難しすぎることもなく英語を学ぶことができます。

人間科学部・食物栄養学科1年(渡航時)

前羽 寧音

①オーストラリア・アデレード大学
②30日間

インターンシップ

02



夏期・春期の休暇期間を利用し、研修ごとのテーマに沿った体験型学習を盛り込んだ海外インターンシップです。海外での就労体験を通じて、外国語でのコミュニケーション能力、異文化に対する理解力や適応力を養います。広い視野と教養を身につけ、自分の将来のキャリア形成に役立てる事ができます。

学校生活を普通に過ごしていく、最後の学生生活、今しかできないことをしたいと思い、「ホノルルフェスティバルのボランティア」という普通の留学とは違ったことに惹かれ参加しました。

多国籍の方々と出会うことができ、異国の地であるからこそ「日本語が通じなくて無理」ではなくて、自ら積極的に動くことで、英語で会話するのが楽しい!となりました。

日本ではできないようなプログラムがたくさんあり、ハワイに友達と旅行で行ってもしないようなことばかりです。このプログラムでしかできないことなので、とても良い経験になると思います! このプログラムに参加しているのは松蔭の学生だけではないので、他の大学の方たちとも仲良くなれ、友達が増えます!

人間科学部・都市生活学科2年(渡航時)

河内谷 真奈

①ハワイ・ホノルル
②11日間

学科別プログラム

04



文学部・英語学科2～3年(渡航時)

小林 明莉

①アメリカ・デラウェア大学
②10ヶ月

各学科での専門性に合わせた海外研修です。留学期間中はホームステイし、留学先での様々なアクティビティに参加することもできます。英語学科のセメスター/1年留学制度では、4ヵ月～1年間海外協定校で英語を学びます。教育学部での、オーストラリアの幼稚園教育の現場を体験できる研修や、ファッション・ハウジングデザイン学科での海外のファッションビジネスを実感できる研修など、語学研修とはまた違った海外体験が可能です。研修を通して、専攻分野の学業へのモチベーションが更に高まります。

高校生の頃から留学には興味があり、本場でリアルな英語を学びたく参加しました。現地に行くまでは、他の留学生のレベルについていけるか友達が出来るかなどものすごく不安でしたが、最終的には充実した留学生活を送れたと思います。

他の留学生たちと会話をするうえで、文化や習慣の違いで時々意見が衝突してしまうこともましたが、それと同時に言葉の大事さやコミュニケーションの難しさなどを学ぶことが出来ました。

留学は費用がかかるし、いろいろ苦しいこともあるかもしれません。でも、人生で一度きりかもしれない“留学生活”を思う存分心から楽しんでください! みなさんの健闘を祈ります! 頑張ってください!

チーチャー制度 日本語パートナー制度

05



文学部・日本語日本文化学科3年(参加時)

迫 恵麗那

①松蔭日本語日本文化研修
②2週間

チーチャー制度は、交換留学生1名につき本学学生1名が付き、滞在中の生活や学習をサポートする制度です。日本語を学ぶ・教えることを通して留学生と本学学生の交流を深め、相互の文化理解の好機とすることを目的としています。また、毎年7月の「松蔭日本語日本文化研修(サマープログラム)」には各国からの留学生が参加し、日本語や日本文化を学び、異文化交流を深めます。

本学学生は日本語パートナーとなり、留学生の生活や、日本語学習のサポートを行います。

私は日本語教師になるという夢を叶えるため、この大学に入りました。日本語パートナーは留学生との交流の中で、日本語を教える際に必要なことや難しさ等を知るうえで大変良い経験になると思ったため、参加しました。

特に相手の言語や文化を知ることの重要さを学びました。言葉選び1つにおいても知っているか知らないかで変わってきます。また、その国の考え方や価値観の違いにもふれあえるので自分自身の視野も広がりました。

留学生の方とは今でも交流があり、年中行事があるとお互いの国ではこう過ごすと教えています。国際交流に興味がある人はもちろん、ない人も貴重な経験や友達ができるチャンスなので、ぜひ参加してみてください!

留学プログラム

応募から出発まで

〈全学部対象〉

1

募集要項の提示

各プログラムの募集に関して、説明会を実施します。学内のポスター掲示や、ポータルへの配信などにより日程などの情報発信を行いますので、必ず確認しておいてください。

2

募集説明会の実施

プログラムの詳細説明や、出願に必要な提出用書類を配布します。必ず出席してください。授業等で参加できない場合は、事前に国際交流センターに相談してください。

3

出願

出願するにあたっては、申込書に必要事項を記入し、期日までに国際交流センターに提出してください。なお、研修参加には保護者の承諾が必要です。

4

参加者オリエンテーション

研修参加者対象に、複数回のオリエンテーションを実施します。
参加必須です。

語学研修	研修地	研修時期	研修期間	滞在形態	主な応募資格	取得単位数	留学費用 (2019年度実績)	内 容
語学研修	中国	8月	23日間	大学寮	中国語を1年以上学んでいること	2単位	約20万円	中国国内最高峰の外国語大学である北京外国语大学で中国語を学びます。午前中は中国語の授業を受講し、午後からの自由時間では、市街に出かけて勉強した中国語を実践します。
語学研修	オーストラリア	2月～3月	30日間	ホームステイ	原則的に語学基準なし	2単位	約55万円	オーストラリア・アデレード大学にて英語を学ぶプログラムです。クラスは語学力レベルによって分けられるので、自分のレベルに合った授業を受けることができます。語学学習以外にも、オーストラリアの伝統的なブッシュ・ダンス体験など、文化体験もできます。
語学研修	フランス	8月	22日間	ホテル	フランス語を1年以上学んでいること	2単位	約45万円	フランスの語学学校にてフランス語を学ぶプログラムです。語学学校で培った語学力を試しながら、美術館や歴史的建造物などを訪れ、フランスやヨーロッパの文化を体験します。
インターンシップ	研修地	研修時期	研修期間	滞在形態	主な応募資格	取得単位数	留学費用 (2019年度実績)	内 容
海外インターンシップ	カナダ	9月	14日間	ホームステイ	原則的に語学基準なし	1単位	約40万円	カナダ・バンクーバーにて、午前は英語研修、午後はその英語を使用して視察、課外研修に参加します。最終日には、カナダの食材を使用してのお弁当を考案し、現地の旅行会社に対してプレゼンテーションを行います。また、現地の日本食材販売店で働く日本人とも話す機会があり、多くのことを体験し、学ぶことができます。
海外インターンシップ	アメリカ	3月	11日間	ホテル	原則的に語学基準なし	1単位	約35万円	毎年3月に開催される、ハワイ最大の国際文化交流イベント“ホノルル・フェスティバル”的運営に参加します。環太平洋諸国の文化交流促進支援事業として、2015年に20周年を迎えたこのイベントには、各国から多くの学生が参加し、民族や世代を超えた交流を体験することができます。また、多くの日系企業もスポンサーとして関わっており、海外で働く日本人と話をする機会もあります。
海外インターンシップ	中国	3月	12日間	ホテル	中国語副専攻、もしくは中国語を最低1年以上履修していること	1単位	約15万円	中国広東省の深圳で、本学卒業生の女性起業家のもと、滞在中毎日様々な実務を経験します。本社での工場視察や商品説明のサイトの翻訳、代理店の顧客訪問に同行し、商品確認などを行います。また、就業体験のほかにも、女性起業家との交流会に参加、日本人学校の訪問、中国語を勉強している日本人との交流等、いろいろな立場で中国にいる日本人から話を聞く機会もあります。
日本語教育	派遣先	研修時期	研修期間	滞在形態	主な応募資格	取得単位数	留学費用 (2019年度実績)	内 容
海外日本語教育実習	中国 / 台湾	3月	10日間	大学寮	日本語教育実習の基礎 日本語教育実習の実践を履修していること	2単位	約10万円	日本語教員養成課程を履修している学生を対象に、海外の大学で授業見学と日本語教育実習を行います。現地では教壇実習だけでなく、日本語を使ったゲームやアクティビティを行ったり、日本の生活などを紹介するなどの様々な活動も含みます。
海外日本語教育 インター ン	インドネシア 他	2月～3月	2週間～1ヶ月	大学寮	日本語教員養成課程を履修していること	一	一	現地大学で、授業の見学やアシスタントとしての授業の手伝いを経験した後、実際に教壇に立って日本語を教えます。さらに日本語学科がある高校を訪問する機会もあり、大学生と高校生という年代の違う学生と触れ合うこともできます。また、学生パートナーとの交流や、現地で日本語教師として働く日本人と話をする機会もあります。
日本語教育助手 TA	中国 / オーストラリア	9月(中国) 4月(オーストラリア)	半年～1年	寮(中国) ホームステイ(オーストラリア)	応募資格の詳細は、本学WEBサイトをご確認ください	卒業後 派遣	一	本学卒業後、日本語教育の助手:TA(Teaching Assistant)として海外の大学へ派遣する制度があります。1994年にスタートし、現在は中国とオーストラリアへ派遣しています。

〈学科別〉

学科(プログラム名)	研修地	研修時期	研修期間	滞在形態	主な応募資格	取得単位数	留学費用 (2019年度実績)	内 容
英語学科 (セメスター/1年留学)	アメリカ/カナダ/イギリス/ オーストラリア/ニュージーランド	8月	4ヵ月 6ヵ月 1年	ホームステイ	詳細は、本学WEBサイトをご確認ください			2年次の後期に英語圏の協定大学に留学します。
英語学科 (中国語セメスター留学)	中国	9月	1学期間	大学寮	詳細は、本学WEBサイトをご確認ください			2年次の後期または3年次の後期に閩江学院(中国)に留学します
英語学科 (海外インターンシップ)	オーストラリア	9月	3週間	ホームステイ	英語学科3年生以上 (文学部他学科も受講可)	2単位	約65万円	オーストラリア・メルボルンで、各自の英語力に応じた職場に配属され、英語環境下での就業体験をします。また異文化体験などについて、現地で日本人インストラクターと共に課題やディスカッションをしながら学びます。
教育学部 (海外教育実習)	オーストラリア	3月	10日間	ホームステイ	教育学部2年生以上	1単位	約40万円	オーストラリア・アデレードの小学校、幼稚園、幼児教室、現地の日本人学校まで、さまざまな教育施設を訪問して、海外の教育実情や価値観に触れる体験をします。学生たちは言葉の壁を超え、現地の児童たちとの触れ合いを楽しめるのも魅力です。
ファッション・ ハウジングデザイン学科	フランス	3月	7日間	ホテル	ファッション・ハウジングデザイン学科 全学年対象	一	約30万円	フランス・パリで、アパレル市場の現場の事情やマーケットの調査、美術館や博物館の見学、刺繍の体験や帽子のアトリエ見学をするプログラムです。専門領域の知識を深めることや国際的感覚を身につけることを目的としています。



学内での国際交流

—— 松蔭生は、日本語パートナーとして、留学生の生活や、日本語学習のサポートをします。——



我が家で国際交流してみませんか？

ホストファミリー登録募集!!

毎年5月に約10名、7月に約20名、海外協定校から日本語・日本文化を学ぶ留学生を短期で受け入れています。日本語授業や学外研修の他、プログラムの一環として2泊3日のホームステイも行っています。ホームステイは留学生が日本の文化や生活を体験できる貴重な機会になっています。**ホストファミリー**に興味のある方はぜひご登録をお願いします。

●お問い合わせ:国際交流センター(2号館5階) Email:kokusai@shoin.ac.jp



日本語パートナー制度

2週間～1ヶ月の短期間、本学での研修に参加する外国人留学生のサポートをします。学内にいながら国際交流ができ、多くの学生が参加希望する人気のプログラムです。

Q1. 日本語パートナーをしようと思ったきっかけは？

来年の春から日本語教育助手TAとして中国に行くにあたり、少しでも日本語学習者に関わる機会が欲しいと思ったからです。実際にパートナーと交流したり、話したりすることで得た気付きが沢山ありました。また、3月に中国・閩江学院で実施された海外教育実習に参加し、そこで仲良くなった学生が「日本語日本文化研修」で来日すると聞いていたので参加しました。

Q2. パートナーをして大変だったことは？

「日本語日本文化研修」に参加している留学生の数が多いので、買い物や観光などみんなで行動する時の指示に手間取るのが大変でした。留学生たちは日本に興味津々なので、一つ一つが気になって仕方ないようで、移動だけでも大騒ぎでした。また、留学生たちが来日するのが7月なので、自身のテストと、留学生たちとの約束やイベントが被るととても大変だったので心構えをしておくといいと思います！あとは、留学生たちと仲良くなりすぎて別れが本当に悲しいのが1番つらかったです。

Q3. 後輩へのメッセージ

日本語パートナーは大変なこともあります、国を越えた友達が沢山できてとても楽しいです。わたしは今でもパートナーの留学生と連絡を取り合っています！ぜひパートナーになってたくさん思い出を作ってください！

• • • • • • • • •

Q1. 日本語パートナーをしようと思ったきっかけは？

私自身がカナダのビクトリア大学へ半年間留学をしていた際に、ビクトリア大学の日本語を学びたい生徒や日本語学科を専攻している生徒が言語パートナーになってくれて、英語の学習のみならず生活面でも沢山サポートをしてくれてとても助かりました。また、彼女や彼らのおかげでとても素晴らしい留学となりました。なので、私も留学生が私の大学に来た時には彼女や彼らをサポートして、日本での留学生活がより良い経験となれば良いと思い応募しました。

Q2. パートナーをして楽しかったことは？

楽しかったことは沢山あったのですが、3つに絞りたいと思います。まず、私の日本語パートナーはインド人の生徒だったので、アメリカ、インドの2つの文化の違いを知ることができ、日本に居ながら2つも違う文化を感じられたこと。次に、現在のアメリカや日本の若者が使っているスラング、英語や日本語を教えてもらったり、教えることで異文化理解をすることができたこと。最後に、お互い話すときに英語と日本語が混ざってしまうけれど会話が成立するところがすごく楽しかったです。

Q3. 将来の夢は？

卒業後は、1年ほどオーストラリアへ行き日本語のティーチングアシスタント(TA)として、小学校や大学で日本語を学びたいと思っている生徒と触れ合い、少しでも彼らが日本に興味を持てもらえるように日本の伝統や文化を広めたいと考えています。また、その後は英語を用いることでさまざまな人や、社会の役に立つことができる仕事をして、グローバルに生きたいと考えています！

チューター制度

留学生の生活を、松蔭生が1対1でサポートします。

海外協定校から受け入れる交換留学生や私費留学生の日本での生活を、担当の学生が1対1でサポートする制度です。

Q1. チューターに応募しようと思ったきっかけは？

日本語教師になるという夢があり、より近くで留学生の勉強面や日本での生活をサポートしたいと思い、このチューター制度に応募しました。また、昨年イギリスへ留学した際に日本語を教えるボランティアに参加していました。その経験を活かしたいと思ったことも理由の一つです。

Q2. 具体的にはどんなことをしていますか？

お昼ご飯と一緒に食べたり、放課後にでかけたり、お互いの課題を教え合うこともあります。「クリスマスパーティーやお誕生日会もしたいね」と言っていたので、みんなで計画を立てたりもしています。

Q3. チューター制度で得たことは？

初めは英語でコミュニケーションをとっていたのですが、最近では日本語で話しかけてくれることが多くなり、留学生の日本語の上達に驚きと嬉しさを感じます。日本語を教えるということの楽しさと難しさを、このパートナー制度で知ることができました。留学生の日本語学習に一生懸命に取り組む姿勢を見て、私自身も英語の勉強をもっと頑張ろうと思うことができました。



溝口 礼奈さん
文学部・日本語
日本文化学科4年



小原 華奈さん
文学部・英語学科4年



大山 茅紗さん
文学部・英語学科3年